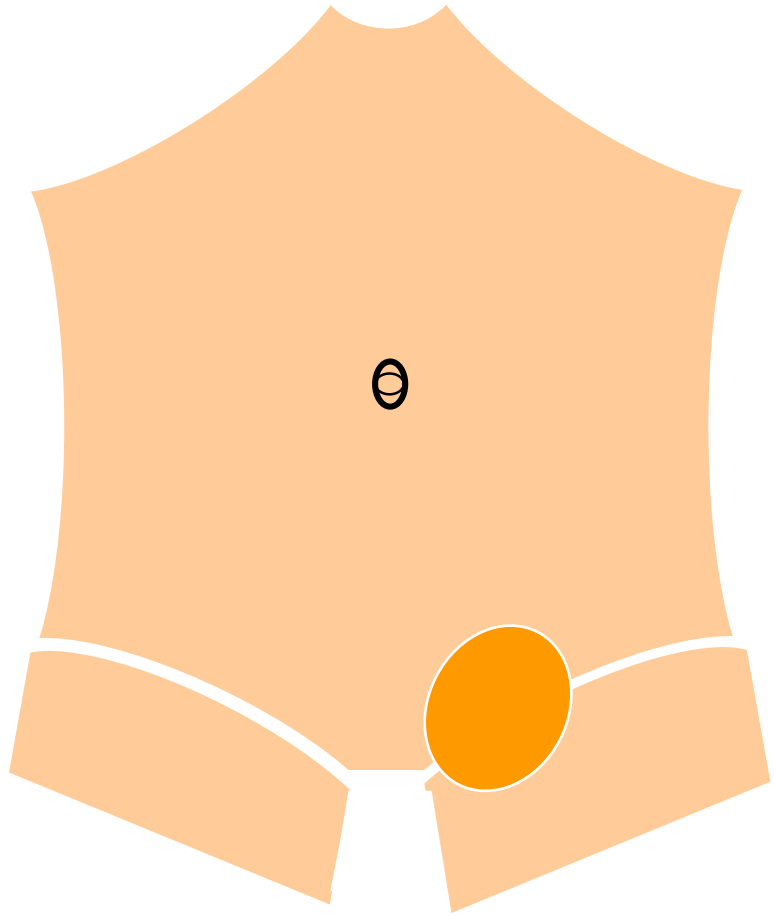


ひらまつの鼠径ヘルニア手術



当院の鼠径ヘルニア治療のこだわり

- ① 腹腔鏡法を中心とした鼠径ヘルニア手術
- ② 再発が少ない手術
- ③ 手術待ち期間が短期
- ④ 入院期間は短く・・・安全・安心も大切に
- ③ 術後疼痛の軽減



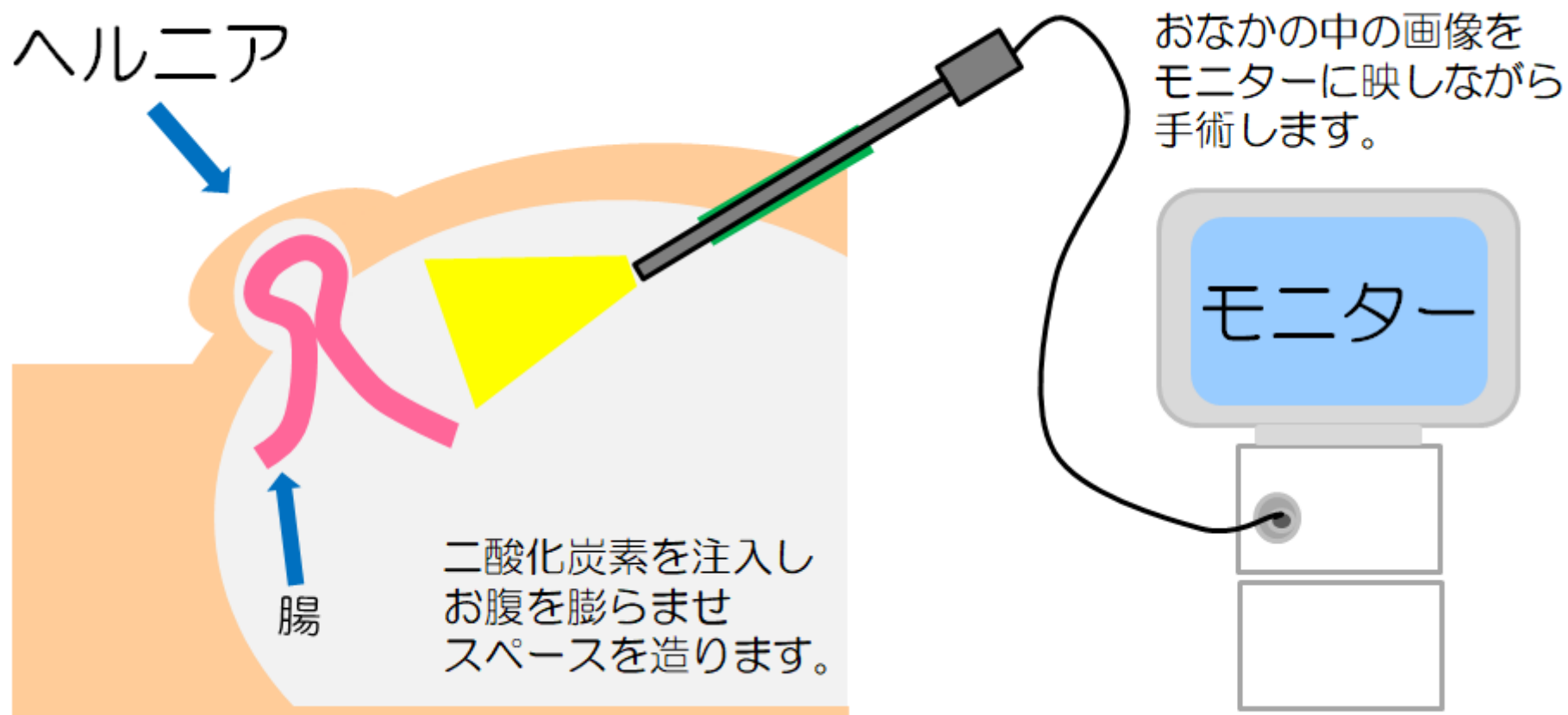
① 腹腔鏡法を中心とした鼠径ヘルニア手術

2016年4月～2025年3月までに952人の方に鼠径ヘルニア手術を受けていただきました。

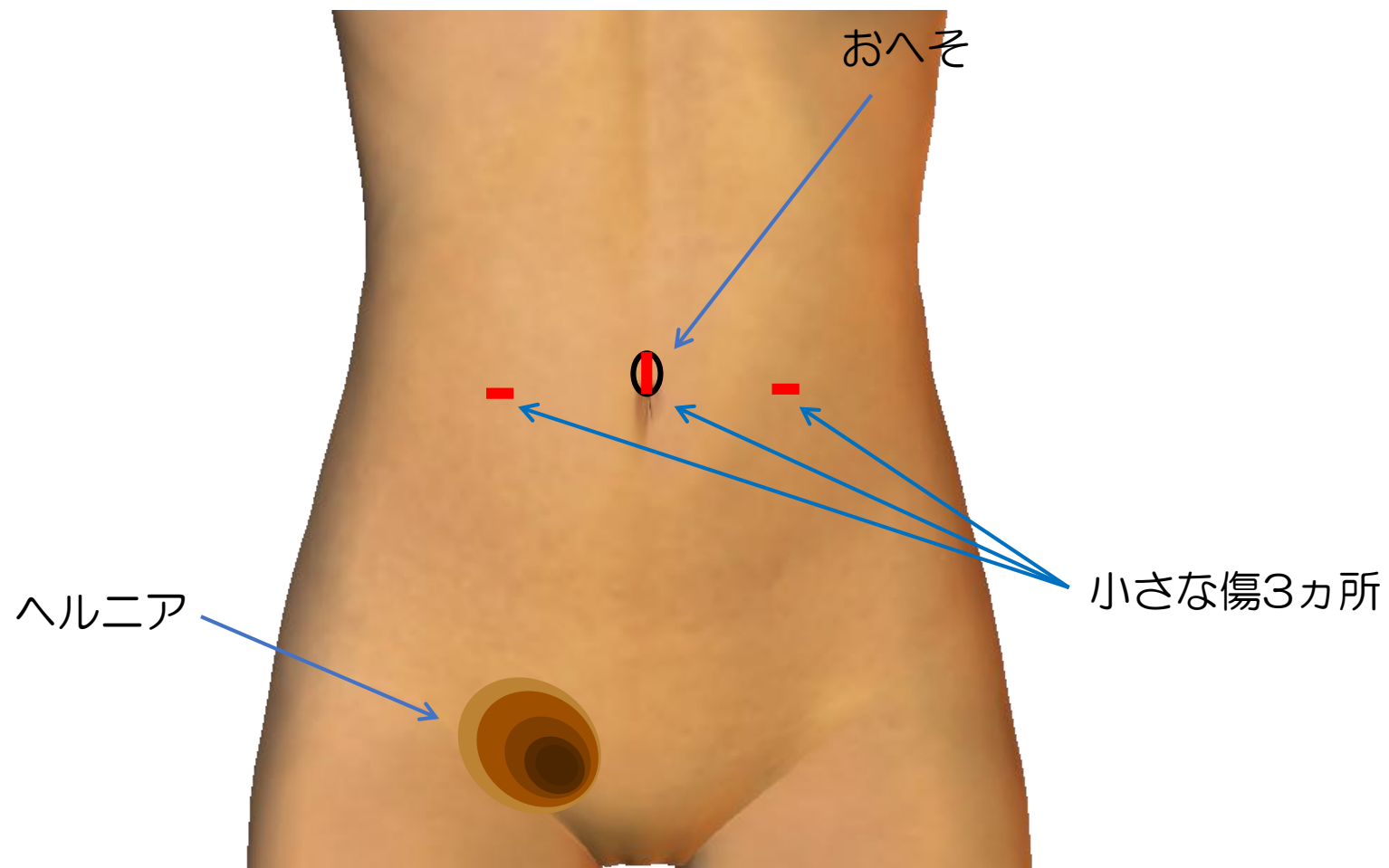
腹腔鏡法での手術はヘルニアの診断が正確であること、術後の痛みが少なく回復が早いという特徴があります。当院で手術を受けられた方のうち952人中922人の方は腹腔鏡法で施行し、30人の方は鼠径部切開法でした。

腹腔鏡法で鼠径ヘルニア修復を行った方の入院期間は、殆どの方が日帰りもしくは1泊2日でした。

腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術図

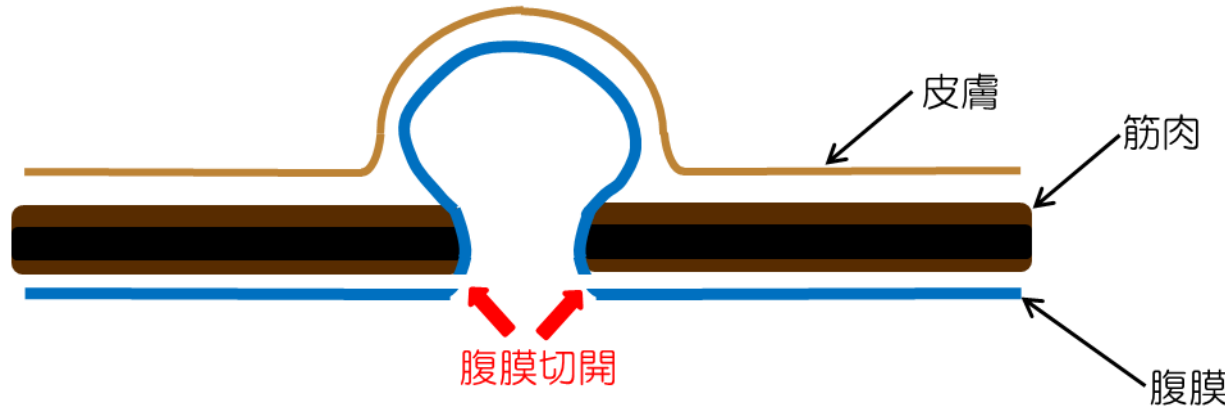


腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術創

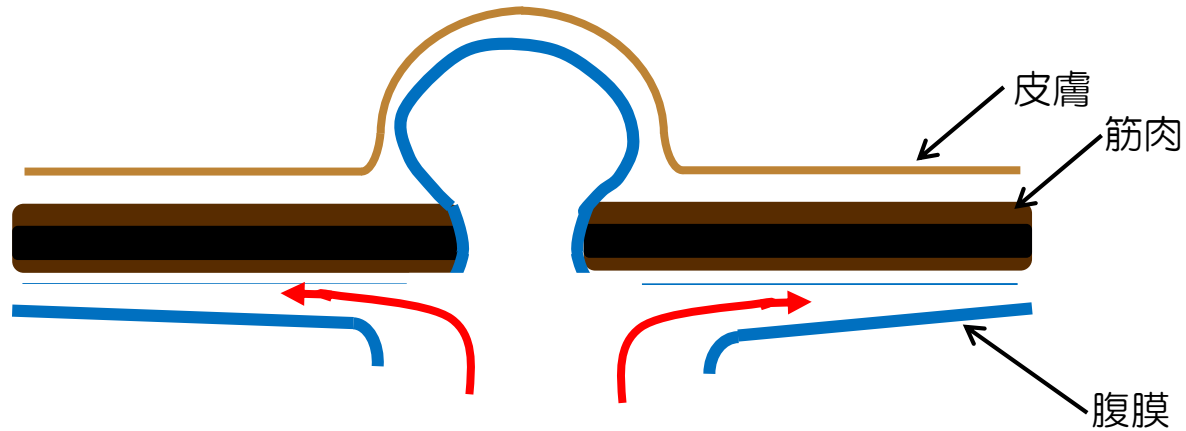


腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術

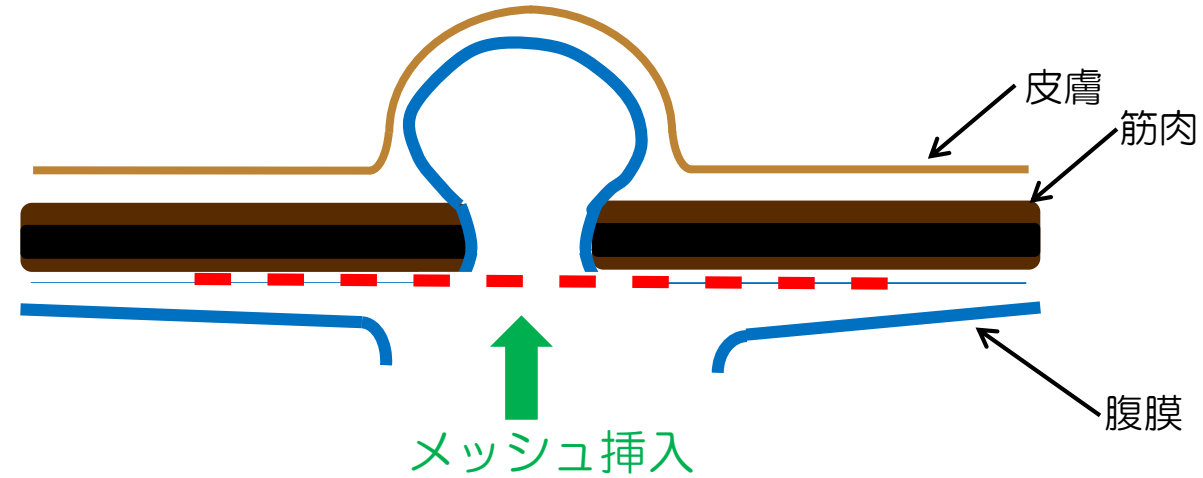
① ヘルニア門に沿った腹膜切開



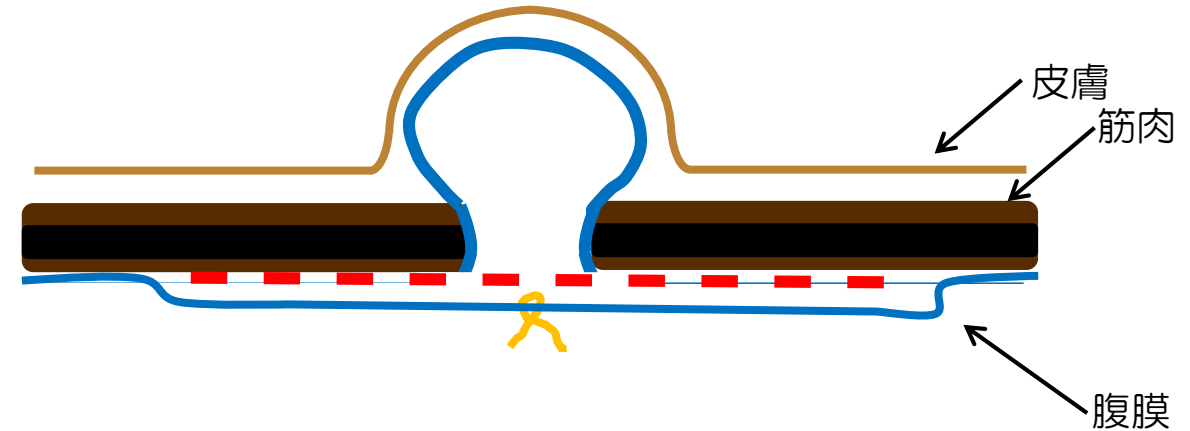
② 腹膜前腔剥離



③ メッシュ挿入



④ 腹膜切開部を縫合閉鎖



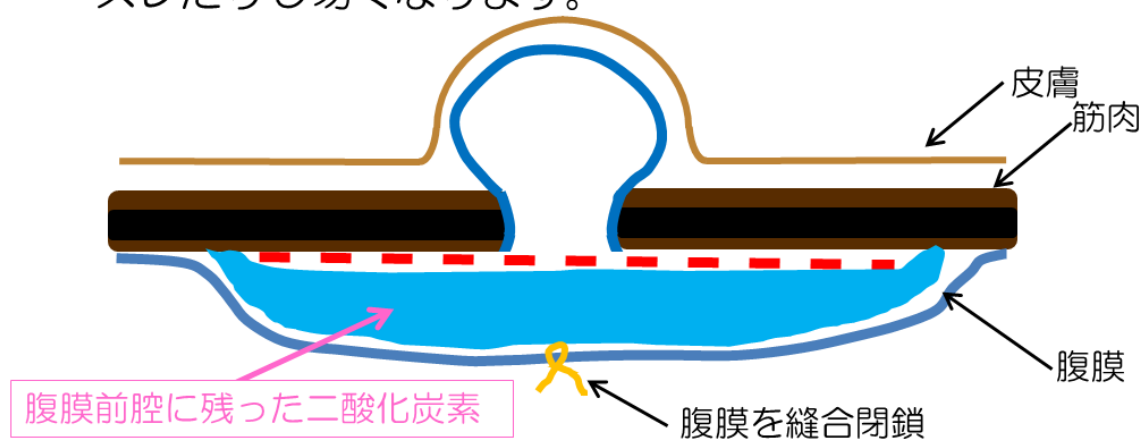
② 再発が少ない手術

再発は952人中1人（約0.1％）であり、一般的な鼠径ヘルニア術後再発率（1～3％）より低値でした。

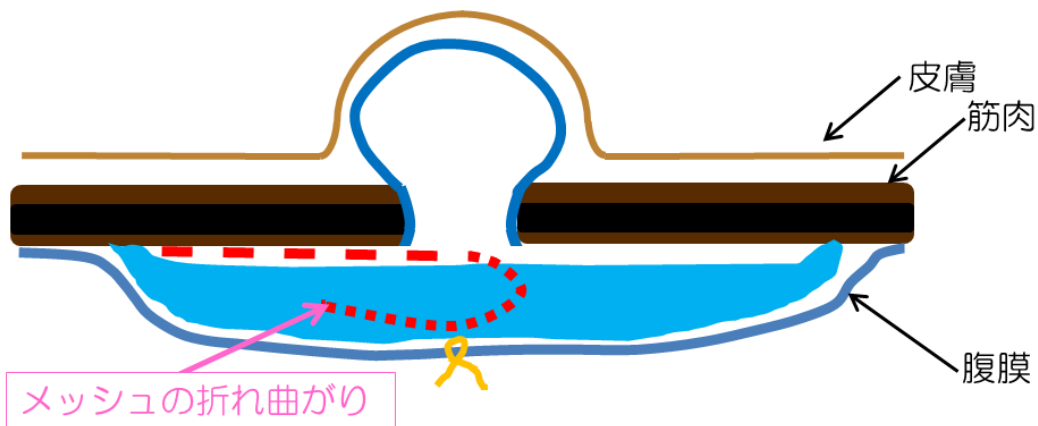
再発の有力な原因としてメッシュの移動・折れ曲がりがあります。当院で再発した方もヘルニア門外側でメッシュが折れ曲がりめくれ上がっていました。以来当院では、次頁のような「**腹膜前腔の脱気手技による再発予防**」を行っています。

腹膜前腔の脱気手技による再発予防

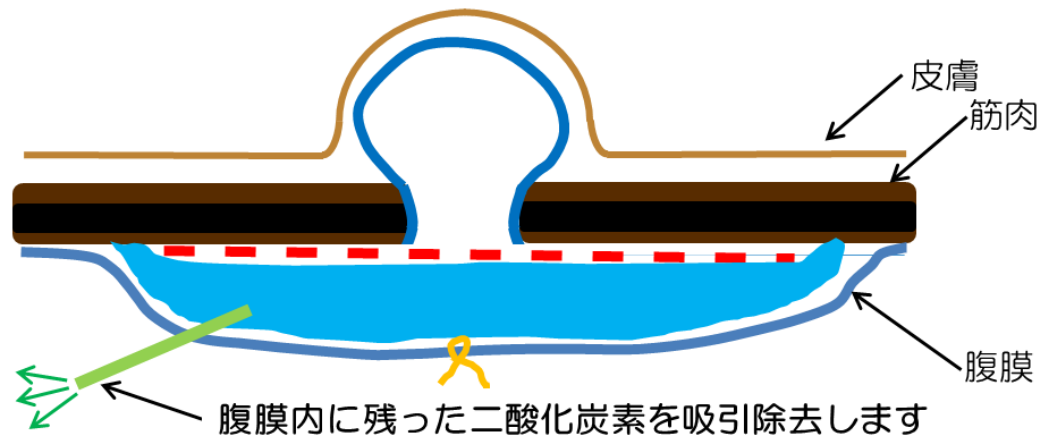
- ① おなかを膨らませるのに使用した二酸化炭素が腹膜内に残っていると、メッシュが折れ曲がったりズれたりし易くなります。



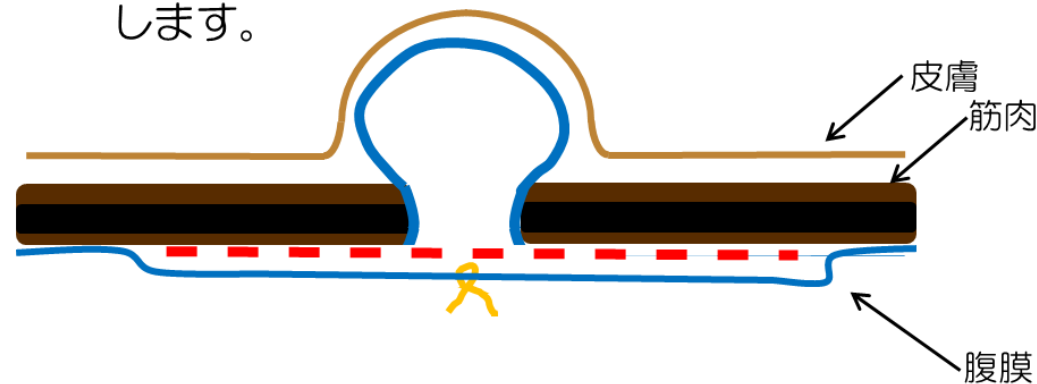
- ② メッシュが折れ曲がっていてもわかりません。



- ③ 腹膜に残った二酸化炭素を吸い出すとメッシュの折れ曲がりの有無が確認できます。



- ④ メッシュが折れ曲がりがない状態で手術終了します。



② 再発が少ない手術

10x16cm大の大きめのメッシュを主に使用し

鼠径部の広い範囲を補強し再発防止に努めています※。



※ 体格が小さい方には小さいメッシュを使用することがあります。

③ 手術待ち期間が短期

「早く手術を受けて早く元気になっていただきたい」と当院は考えています。

初回の外来受診（診察・検査・手術方針の相談）は平日のみならず土曜日午前中も可能です。

初回外来から手術までの期間はおおよそ**1週間**です。

※持病をお持ちの方の場合は一度の外来受診では術前検査が終わらないことがあります。

※日帰り手術を希望される場合は手術待ち期間が長くなる場合があります。

④ 入院期間は短く・・・安全・安心も大切に

殆どの方は**日帰りもしくは1泊2日**で手術が行えます。

入院ベッドのある病院で行う手術です。ご高齢の方や持病の多い方など、日帰り手術が不安な方は1泊2日～4泊5日の入院も選択できますので安心です。

日帰りの方も手術終了後5時間程度は病院内で経過観察をさせていただき、医師診察を行い問題ないことを確認してからの帰宅となります。

※持病をお持ちの方の場合は一度の外来受診では術前検査が終わらないことがあります。

④ 入院期間は短く・・安全・安心も大切に

麻酔は経験豊富な**日本麻酔科学会麻酔専門医**が施行します。

外科学会専門医、消化器外科学会専門医、内視鏡外科技術認定医が在籍しています。



⑤ 術後疼痛の軽減

傷が小さく痛みの少ない腹腔鏡法（腹腔内アプローチ）を主術式としています。



手術は5mmポート3本で行い痛みの軽減に努めています※。

腹腔内に3本のポートを入れて手術を行います。

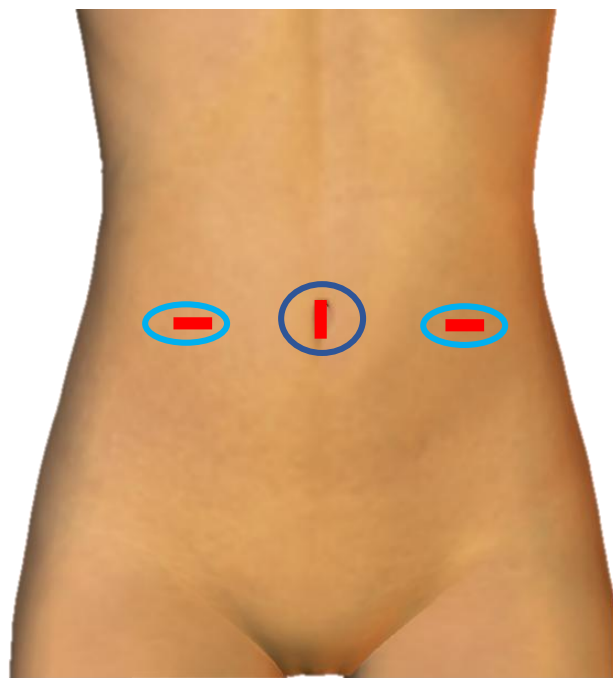
左記のように1箇所5mm強の傷が3箇所できます。

鼠経部切開法に比べ傷が小さいため術後の痛みが少ない

手術です。

※患者さんによっては、メッシュを使用した前方アプローチ手術をおすすめする場合があります。
使用ポートサイズを変更することもあります。

⑤ 術後疼痛の軽減



手術終了後、まだ全身麻酔がかかっている状態で左記のように3箇所 of 創部に超音波ガイド下の神経ブロックを行います。

術後の痛みを減らすための麻酔科の工夫です。



腹直筋鞘ブロック



腹横筋膜面ブロック